

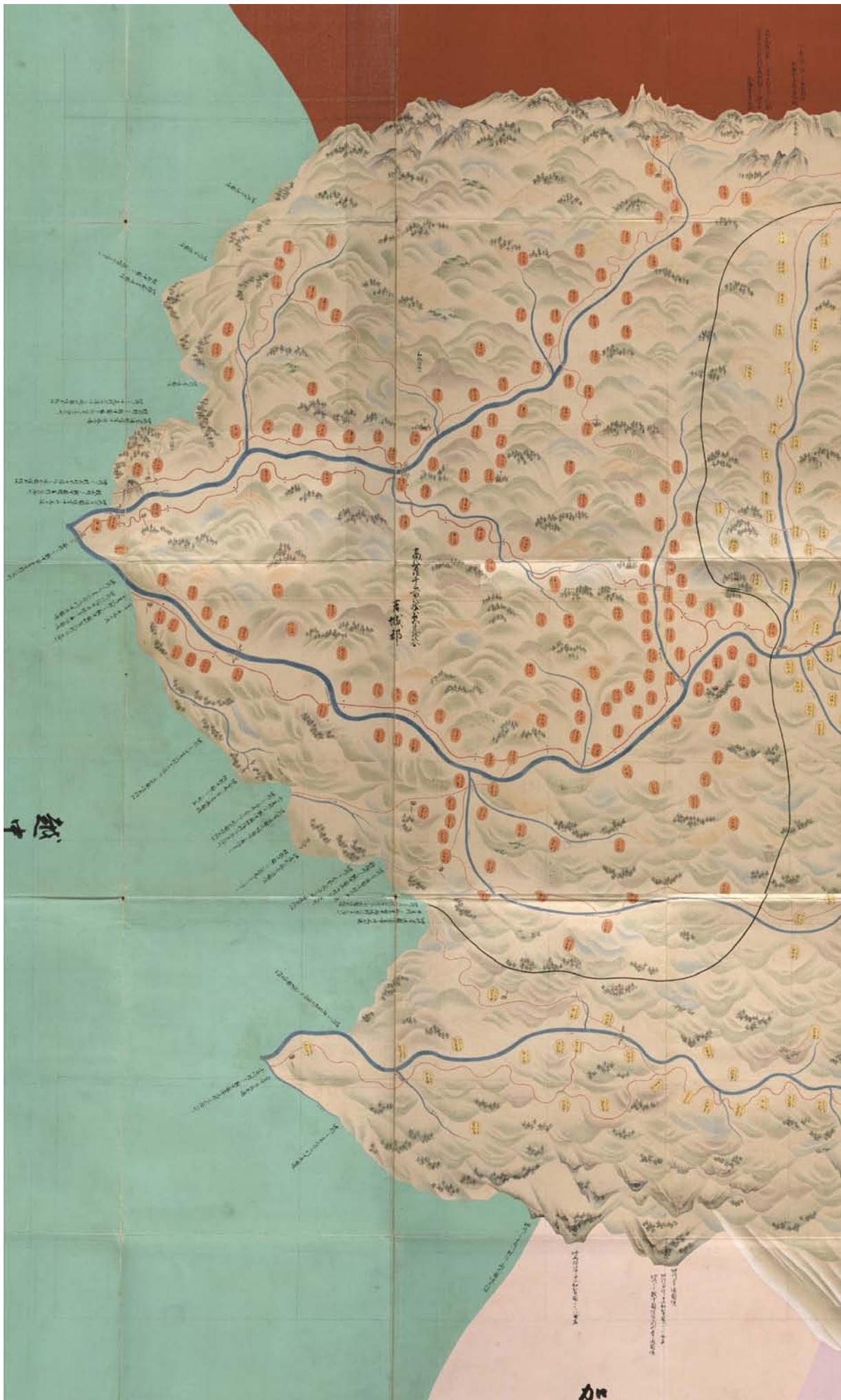
(第 11 圖)



(第 12 図)



(第 13 图)



(第14図)

## (8)天保国絵図 飛騨国 (第 11～14 図)

年代 天保 9 年(1838)、紅葉山文庫旧蔵本(註1)

寸法 原本 485×383

原本は東京国立公文書館にあり、閲覧、複写は4×5ポジによった。

4×5ポジで 12 枚に分割撮影されている。

所蔵 国立公文書館(148—特083—0001)

この絵図は紅葉山文庫(もみじやまぶんこ・幕府の将軍のための文庫)の旧蔵で、現在、国立公文書館に所蔵される。飛騨国絵図の原図は 1 枚で、縦 485×横 383 センチと大きい。第 11 図は分割撮影された4×5ポジ資料 12 枚を接合して再び 1 枚にした。これを 3 分割(第 12～14 図)して本書に掲載した。

天保時代に全国諸藩が、幕府へ提出したものの内、飛騨国の絵図である。街道、河川、在所、隣国各地への里程が詳細に記してある。

大野郡、吉城郡、益田郡の表示があり、それぞれの郡界は黒色の太線で記される。第 12 図は益田郡(高根、朝日は第 13 図)、第 13 図は大野郡、第 14 図は吉城郡である。第 11 図の端書には次のとおり書かれている。

### 飛騨国高村数並郡色分目録

黄色 大野郡 高貳万貳千七拾七石八斗壹升四合 百三十六箇村

茶色 吉城郡 高貳万四千三百貳拾六石五斗九升八合 百七拾八箇村

薄紫色 益田郡 高壹万百九拾七石八斗九升七合 百箇村

高都合五万六千六百貳石三斗九合 村数 四百拾四箇村

天保九年戊戌五月 明楽飛騨守

田口五郎左衛門 大沢 主馬

※正保の絵図(第7図)では都合三万八千七百六十四石四計(と)とあり、天保時代には大きく増石している。

絵図には神社、寺の姿図が描かれ、口留番所の姿図もあるが、ポジ版の拡大のため鮮明な姿はわからない。高山では、一之町村、二之町村、三之町村に分けて表示され、八幡宮、日枝神社、照蓮寺の記載がある。

幕府の必要な情報としては、街道と村落、河川、寺社、口留番所、隣国への道筋と里程、山岳であったことがわかる。天保時代における在所の名称、主要街道がわかる好資料である。

註1 年代、寸法は「国絵図研究会編『国絵図の世界』 柏書房2005年」の 375 頁 国絵図所在一覧表による。

※掲載されている情報(文章、写真など)は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。